

第50回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和2年 8月20日（木） 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女 会議室（八女市役所黒木支所内）
- 3 出席者 出席者総数 7名
委員総数 7名
出席委員 4名 青木歳男 吉武信博
川口良和 加藤大輔
レポート提出委員 2名 篠原加代 古庄浩平
放送事業者側出席者 3名 高木祥平 小柳幸博 中島直樹
- 4 議題 「きらきらミュージックBOX 火曜日版」
7月7日（火） 10:00～11:00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 曜日ごとにジャンルを変えてお送りする音楽番組
※この日は大雨に伴い、パーソナリティと内容を変更してお送りした。
- 7 審議内容
 - ・特別警報が発令されている中、急きょ内容とパーソナリティを変更し、大雨に関する情報や、施設の営業情報、八女市のホームページの情報などを放送していたが、『国道3号線の〇〇交差点付近が冠水して通れない』『約何キロ渋滞している』などの交通に関する具体的な情報が欲しかった。八女市の予約型タクシーが運休であることも、一度でなく何度も放送すべき内容である。
 - ・大牟田市在住のパーソナリティが電話出演されたコーナーでは、前日に八女から大牟田に帰るまでに見た状況（河川が増水している様子など）を店舗名なども入れながら道順もわかりやすく伝えられていた。
 - ・リスナーからの雨に関する情報をもっとあれば良いと思った。Twitterなどを活用するのはどうか。また、災害時に近所の状況を電話で伝える「地域リポーター」のような方が各地域にいると良いと思う。

- ・冠水や渋滞の状況をリアルタイムで伝えることが難しい場合も、警察から「〇〇時現在の情報」という形で、情報のまとめをもらえる仕組みがあると良い。
- ・選曲は気持ち良くてよかったが、大雨に関する情報を中心とした内容に変更していたので、「きらきらミュージックBOX」ではなく番組名を変更してもよかったと思う。「あれ？音楽番組じゃないの？」と疑問を持った方もいたかもしれない。
- ・テレビが災害時に背景を少し暗くするように、ラジオ放送も音楽のトーンを暗くするなどの工夫が必要かもしれない。
- ・割り込み放送が2回あり、1回目の音量がとても小さかった。調整は可能か？
⇒1回目の割り込み放送はスタジオ外にある割り込み放送機から行い、2回目はスタジオ内から割り込み放送をした。局内での連携や事前準備が不足していた為、改善する。
- ・今回の放送で、FM八女が八女に作られた意義を改めて感じる事ができた。コミュニティFMだからできる地域に密着した細やかな情報の提供やリアルタイムの情報発信が強みである。スタッフが危険なことはせず、地域リポーター制度や行政との連携などで、災害に強いラジオ局を目指して欲しい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和2年10月22日（木） 午後4時00分

場所 FM八女 会議室（八女市役所黒木支所内）

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------